

《協力：復興 陸前高田うごく七夕まつり実行委員会》



中高生が沿岸被災地で ボランティア体験

ボランティアに対する関心を高めるため、毎年
行っている夏体験・ボランティアスクールは、
今年度は被災地において体験学習を行いました。

1日目は災害への備え、急救法を学び、2日
目に2班に分かれ陸前高田市に行き、「うごく
七夕祭り」を復活させる活動の一端をボラン
ティアとして体験。3日目は陸前高田市で見聞し
体験したことふり返り、自分達が支援できること
についてグループに分かれ、考えを深めま
した。

被災者の気持ちに寄り添うことで、命や家族の
大切さ、普段いかに便利な生活をしているかなど、
それぞれが自身の生活や家族、地域をふり返って
考えてみる良い機会となったようです。



この広報は共同募金の助成により発行しております。

第六回一関市社会福祉大会



第六回一関市社会福祉大会は、安心して日常生活を営むことができるよう、福祉関係者、市民約五百人が参加して開催されました。開会に当たり大澤社協会長が、「長びく経済の低迷、そして混沌の度合いを深めている政治状況下にあって、国民は展望を開くこともできず、日々閉塞感を抱きつづ過ごしているとき、三月十一日そして四月七日と立て続けに未曾有の大震災に見舞われた。日常生活基盤は断水、停電、交通網の遮断、物資の供給不足、情報の途絶等により失われ、たちまち非日常の世界と化した。社会依存の時代ははつきりとこの度の災害で終止符を打たれたような気がする。

今、我々一人ひとりが成すべきことは何か、を真摯に考え、行動すべき時であろうと思う。満たされた世界は少欲と感謝から生まれる。目標を見定め、勇気を持つて行動することが明日をひらいていく糧となることと確信いたしております」と挨拶しました。

表彰は、福祉委員、職員、民生児童委員、民間社会福祉施設役職員等の方々に表彰状、福祉事業、共同募金への寄付個人・団体に感謝状が、家庭介護者の方に褒章状が贈呈されました。

記念講演は、秋保クリーック院長秋保茂樹氏が「こころの健康・これから生き方」と題して行われました。概要は、次のとおりです。

* * * * *

自殺は十三年連続三万人を超えています。人口十万人に対する自殺者の割合を自殺率と言いますが、これが全国平均で二五・八人なのに対し岩手県は三五・一人で、平成二十二年にはついに二位になってしましました。

経済の低迷の影響が感じられるわけですが、その他に国際比較をすると、自殺を罪悪視しないという文化の相違も見てとれます。キリスト教文化圏に属する国は自殺率が低いからです。尚ユニセフが行つた「幸福度」の国際比較結果もありまして、こちらは経済力とは直接に結び付かないようであります。幸福のベースになるのがこころと身体の健康で、特に高齢になると足の筋力の衰え



最近、適応障害の人があえております。労働環境が厳しくなってきていることもあるのでしょう。漫画家の西原理恵さんは「仕事の収入はガマン料」だと言っています。ビジネスライクに割り切つて仕事にあたるべきではないかと思います。

睡眠薬を飲むと認知症になると思つてアルコールに依存する人がいますが、アルコールが原因で認知症になる人はあるものの逆の事例はありません。アルコールは一時は躁状態にするもの、あとはうつ状態にさせます。アルコールが原因の自殺も多いのです。

さて、「こころの健康」ですが、まずストレスのかからない生き方をしましようということです。映画の中の植木等さんや漫画「釣りバカ日誌」の主人公ハマちゃんのような生き方です。共通しているのが「がんばらない」、「競争しない」ということ。仏教で言う「こだわり」を捨てる、ということです。

ストレスのかからない生き方をしましようということです。映画の中の植木等さんや漫画「釣りバカ日誌」の主人公ハマちゃんのような生き方です。共通しているのが「がんばらない」、「競争しない」ということ。仏教で言う「こだわり」を捨てる、ということです。

以下順に気付いたことを申し上げます。
• 「こころが健康であるかどうか、の指標は遊びを楽しめるかどうか。」
• 脳はヒトと接するとき一番エネルギーを使います。疲れたときはヒトと接しないようにして静かに休みましょう。

• 「変化」は良いことでも悪いことでも必ずストレスになります。恒常性がはたらくからで、これは時間をかけて体が慣れるのを待つしか方法はありません。

• 「クヨクヨ考えるから落ち込む」と思つてはいませんか。その実は「体調が悪いことが原因でクヨクヨ考える」場合が多いのです。

• 「気分は身体のメッセージ」です。気分が乗らないことというのは実際に体に悪いものです。できるだけ避けるようにしましょう。

最後に、室根支部運営委員の千葉睦子さんが大会宣言を提案し、満場一致で採択されました。

* 記念講演の抄録を「希望の方は、社会福祉協議会にお申し出ください。

第六回 被表彰者（敬称）
一関市社会福祉大会

大 菅佐佐佐菅荻曾千増及東小阿及木佐千曾岩佐川高佐橋佐後石泉小奈柴青金門阿中
花 一 関支良
大 東山支東部地池池野山部
安 菊菊金畠
支原藤藤藤原生原葉沢川部寺部川村藤葉原渕藤島橋藤本藤藤坂部嶋井田木野澤部村
福 福祉事業への寄附
社 協公長感謝狀
個 人 (5万円以上の寄附)
6. 福祉事業への寄附
(1) (社協公長感謝狀)
信 征 ク和俊 忠正 夕喜久 文 久 貞力 源正直龍益敏秀秀令 哲征 千敏清京範トキ子
雄也ニ男昭貢彦子子恵 諭雄功雄幸治男市弘子二雄子行子子 郎德子子子子子子
郷 春一剛健義 隆夫美志一昌

鈴及和佐小横佐山金菅村千熊昆白村北高千佐加千廄佐金佐天伊大首菅小佐菊那及小菊星渡佐小小菊小伊松佐鈴千
木木川賀藤玉沢藤部野原上田谷野石上村橋葉藤藤田部藤野藤野東原藤原崎藤地須川山池 邊藤山寺地山東川藤木田
昭信靜和義栄 茂金光雅せ新久忠祐美順眞眞智四君子 美和仁凡一量秀盛長 昭吉與敏輝文ル啓弘隆つ貞澄正和
純一義男彦光淳一 人道政勝い哉次吾子子男子男子子伸薰子治則平志人至助勇己雄一雄男子子一悦入る一男英夫

川室
米今千佐小佐千小吉菅三畠小金菅崎小小菅佐岩岡菅石三千遠芳菅畠小岩鈴渡佐菊村佐根小鈴片千菅鈴阿白菅鈴石
倉々野々野野支野
野葉木寺木葉寺葉田原浦山寺原部松寺原藤渕 原川浦葉藤賀原山山渕木邊藤地上藤部野木沼葉原木部藤原木川
喜勢治郎平史朗廣隆恒美保子惠夫子喜時守 茂牧德二子子助夫雄男子幸浩晟弘紀博一朗男一子 喜志郎和眞雄弘博ち真伸
喜良高一 榮徳清光貴一キ清久 武浩励國梅良一壽養正正 修宏正精達三彰なつ栄孝總正道昭み成
美ミ之

<p>(2) 福祉事業への寄附</p> <p>本部 （5万円以上の寄附）</p> <p>穗玖扇流彩史会 一関支部</p> <p>岩手県宅地建物取引業協会一関支部 第21回チャリティードラムリの会実行委員会 NPO法人ケアセンター 一関糧運株式会社 法泉寺 寒修行団</p> <p>花泉支部 第21回一関市老人クラブ連合会花泉支部 芸能まつり実行委員会 大東支部 大東芸術文化協会 大原支部 摺沢支部 きたぎんレディース サレクル</p> <p>大東芸術文化協会 東山支部 田河津婦人会 竹沢集落振興会</p> <p>千厩支部 千厩小学校卒24・25 年生還暦祝年者一同 千厩ライオンズクラブ 団体</p> <p>7. 共同募金への寄附</p> <p>(1) (社協会長 感謝状) 共同募金への寄附</p> <p>花泉支部 花泉仏教會 花泉古代備生産組合 大東支部 千厩支部 岩手県立大東病院 一関市ゲートボール 協会 千厩支部</p>
--

支部通信

一関支部

川面の灯りを見つめて

（水難物故者等を追悼）

平成二十二年三月十一日、東日本大震災発生。多くの犠牲者を出し、未だ行方不明者多数の大震災であり、私たちの心の中にたくさん悲しみを残し、同時に自然災害の恐ろしさを痛感させられた出来事でした。



ふりかえって、一関市においても、昭和二十二年のカスリン台風、昭和二十三年のアイオント台風と二年続けての台風襲来で、磐井川の堤防決壊などで市街地は濁流と化し、瞬時のうちに、死者、行方不明、五七三人にも及ぶ尊い生命が奪われ、二七五〇戸の家屋の被害、五〇〇ヘクタールもの田畠の流出など未曾有の被害を蒙ったのです。

このような状況下にあって、被災者の救護はもとより、磐井川堤防の建設、治水事業の促進など行政と住民は一丸となって災害復旧に努めてきました。

一関支部では、毎年八月二十日の盂蘭盆会に併せて、尊い命を奪われた水害の犠牲者を偲び、追悼の言葉を捧げ、水害を知らない世代に災害の教訓を伝えていこうということで追悼法要と一般物故者追悼法要及び流燈会を一関仏教会の協力のもと、開催しています。

六十四回目にあたる当日は御遺族、一般参列の方々約五〇〇名が磐井川河川敷に集まりました。追悼法要終了後、燈籠流しを行い、静かに手を合わせながら故人を偲んでおられました。また、東日本大震災のあつた今年は、それらによつて失われた多くの方々の冥福を祈り、手を合わせる方の姿も見られました。

花宗支部

ふれあい交流会

花泉支部では毎年十月、地域で一人暮らしをしている高齢者の親睦交流を目的とした「ふれあい交流会」を開催しています。

昨年も約五〇名程の参加があり、かんぽの宿一関を会場に、市の栄養士さんから「高齢者の食生活」についてのお話や、介護予防センターによる健康体操で、健康への意識を高めました。

また、温泉に入りリフレッシュし、昼食や懇談で相互の交流を深めます。毎年続けて参加される方も多く、再会を喜び、会場はちょっととした同窓会のよいをいただき、身近な相談役として懇談の輪に入つていただいております。

今年も十月十二日、かんぽの宿での開催を予定しております。



元気な笑顔で再会できることが樂しく元気になります。

大東支部

室蓬館感謝祭開催

（赤い羽根共同募金で支援）

大東町の障がい者福祉サービス事業所室蓬館では九月十七日、地域の皆様に感謝を込めて「室蓬館感謝祭」を開催。会場には利用者の家族、ボランティアのほか、町内外から多くの方々が訪れました。会場では小麦粉、米粉やそば粉を



使用したうどんや種類豊富なパンが販売され、「おいしい」「もう一杯食べたい」といった声と笑顔に溢れていました。また、ステージでは地域住民の有志による多彩なイベントが行われ、会場を賑わせました。

販売されたうどんやパンは、赤い羽根共同募金の助成を受けた設備で製造。新設した作業室には、収穫した玄ソバの製粉に必要な石抜機、精米機、玄そば脱皮機、石臼製粉機のほかを配置。大東地域にはソバの栽培農家も多いことから、地域からの製粉委託などの注文も入っているとのことでした。

施設長は「赤い羽根共同募金が、地域の皆様に還元された素晴らしい感謝祭となりました。より地域の皆さんに喜んでいただけるよう今後も利用者、職員一同張り切つて仕事に取り組みます。」と話していました。

千厩支部

梅田宿舎deふれあいサロン

千厩支部では、東日本大震災で被災された方が多く入居している梅田宿舎の集会所を会場に、ふれあいサロンを開催しました。

梅田宿舎は、雇用促進住宅として四棟建設されたもの。

当日は、入居されている高齢者等

の皆さん二十八名が参加。そのうち六十五歳未満の方数名がサロンのサポーター（お世話人）として参加してくださいました。

又、千厩支所の協力により、入居世帯にチラシを配布し更には保健師等の訪問の際に、一人ひとりに参加の声掛けをしていただきました。お陰様で参加者、協力者合わせて四十五名となり、大盛会でした。

この第一回のサロンには、促進住宅の高齢者の皆さんに参加していただきましたが、支援者の方々の参加も多く、地域からは行政区長、自治会長、民生委員、自治会サロンの会員。市役所からは支所と健康づくり課の保健師、東部包括支援センター、千厩警察署地域課、地域の居宅介護事業所の職員等、又、気仙沼市役所から保健師等二名が参加。

不慣れな土地で不便な生活の中で、不安や健康不安を抱えていらっしゃるかも知れない高齢者の皆さんが多い中、気仙沼市役所職員の出席は、気仙沼市の皆さんにとって『ふるさとからの嬉しい来訪者』となつたと思います。



東山支部

今回のメニューは、血圧測定・健診相談、健康体操、おしゃべり、歌でした。
「震災後、今日初めて口紅つけてお化粧してきたわよ」「またサロンやつてください」との声は支援する皆さん的心にも響きました。
秋になつたら、また集まりましょう！待ち遠しいですね「梅田宿舎deふれあいサロン」

さくらの湯に行つてきました

平成二十三年度第一回ひとり暮らし高齢者の集いを七月に水沢のさくらの湯を会場に開催しました。参加者二十九名、民生児童委員協議会の協力により、目的の親睦交流が出来ました。

暖かいお風呂とおいしいお料理は勿論、皆との語らいで、和やかな楽しい時間過ごすことが出来ました。「次も元気で会おう」と次回を誓う皆さんでした。

室根支部

「舟下り」で親睦深まる！ —一人暮らしの集い—

室根地区「一
人暮らしの集
い」は東山町尻
鼻渓で開催され
「舟下り」を樂

しました。そ
の日は朝から日
差しが強く暑い
日でしたが、参

加者二十五名は
皆、暑さなどに
負けない元気さで、楽しくそして和

やかに交流を深めました。
舟に乗ると船頭さんが木陰を選んで舟を進めて下さり、まるで森林浴

のような心地よさ。自然の「雄大さ」
を体一杯に感じ、船頭さんの唄う猿
鼻追分に酔いしれた舟下りでした。

何十年振りで舟に乗った方、初めての方、皆それぞれにしばし舟の旅を満喫されました。

参加された一人暮らしの方々の中には、この「集い」を中心待つておられる方もおり、共通の話題に花が咲き、活力を取り戻した有意義なひと時となりました。



川崎支部

砂鉄川堤防ウォーキング交流会

七月五日快晴、川崎公民館でヘルスチェック・オリエンテーション・ウォーミングアップののち、約六十名の参加者は二キロ（もぐもぐ折り返しコース）と六キロ（右岸・左岸コース）に分かれ出発しました。指導されたとおり、なるべく笑顔で会話しながら景色眺めながら少しずつ水分を取りながら、川風に吹かれ快調なペースで歩き、心地よい汗と

共に全員無事ゴールしました。脈拍

チェック・クールダウンを終え、工房

入りコールスローサラダをご馳走に

なりました。

この交流会は、明るく元気な地域づくりをお手伝いする「かわさき健康塾」NPO法人アートで明るぐ生

てんとう虫の利用者が作つた人参

んこ盛りカレーライスと干しブドウ

入りコールスローサラダをご馳走に

なりました。

この交流会は、明るく元気な地域づくりをお手伝いする「かわさき健康塾」NPO法人アートで明るぐ生

てんとう虫の利用者が作つた人参

んこ盛りカレーライスと干しブドウ

入りコールスローサラダをご馳走に

なりました。

この交流会は、明るく元気な地域

づくりをお手伝いする「かわさき健

康塾」NPO法人アートで明るぐ生

てんとう虫の利用者が作つた人参

んこ盛りカレーライスと干しブドウ

入りコールスローサラダをご馳走に

なりました。

この交流会は、明るく元気な地域

づくりをお手伝いする「かわさき健</p

地域活動団体紹介

—川崎支部—

「子育てサロン」「キュー・ピーサロン」

川崎地域初の住民による自主的子育てサロン「キュー・ピーサロン」は、平成二十二年八月に誕生しました。以前からあった川崎地域子育て支援交流グループ「びよちゃんクラブ」のメンバー五人が主体となり、月一回二回の定期的なサロンの開催でスタートしました。



会場は川崎農村環境改善センター一階の和室で、午前九時三十分から十一時三十分まで開催します。自由遊び・輪になつてご挨拶・歌の体操・絵本の読み聞かせ・おやつが主なプログラムになっています。芸達者なスタッフに加え花泉子育て支援センターの職員にも協力をいただいて子供たちの興味を誘っています。

サロンの参加者は発足当初五組の親子でしたが、保健師に乳児検診時にチラシを配つていただきたりし、口コミなどで少しずつ広がり、里帰りしている母子と祖母の参加もあたりして、現在十四組が登録しています。時々若い父親や祖父の参加があるのもうれしい限りです。

毎年七月と十二月の「キュー・ピーアン場」という中学生たちとの交流と、二月川崎公民館での「川崎地域健康まつり」に参加する予定です。加えて今年度は、いちのせき元気な地域づくり事業で七月の「ちびっこあつまれー！」と十月の「親子コンサート」への参加と、楽しいイベントが盛りだくさんになっています。

保育所に行つていらない小さいお子さん、赤ちゃん、都合のいい時気軽遊びに来てね！

東日本大震災により被災された方を応援しようということで、群馬県佐波郡玉山村の絵手紙サークル「二歩の会」（代表 筑井あけみ様）から一関市社協へ絵手紙による応援メッセージ数点の寄贈がありました。

応援メッセージは、「がんばっている皆さんが一日でも早く笑顔で暮らせますように応援しています」など、心のこもったメッセージが沢山寄せられています。今回はその中の一点を紹介いたします。

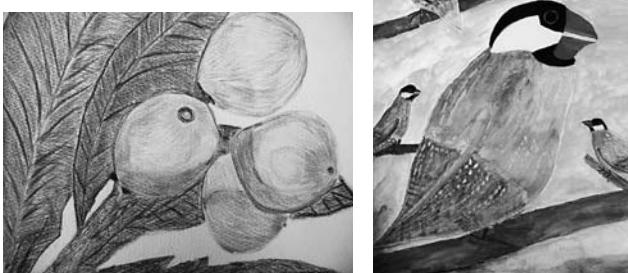


絵手紙による復興への応援

今日のギャラリー

工房では、作業の一環としてアート創作をしています。

米倉光昭さんは、いつも「思ったように描けない……」と悩んでいます。しかし本人が悩んでいるのが嘘のような作品がいつも完成し、イラストも独特な作風で、作品を使用したレターセットは、工房一番の人気の商品になっています。「文鳥の森」、「びわ」もこつこつと仕上げた作品です。



お問い合わせは、工房でんとう虫まで
一関市川崎町薄衣字諏訪前三八
電話 ○一九一―四三一四七三三



まごころ寄附

平成23年6月から平成23年8月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

本 部

大阪市阿倍野区阿倍野筋 鮎川 洋様 テント3張

一関支部

一関市	社会を明るくする運動 チャリティ踊りの会様	100,000円
一関市三関字日照	ウインズニュー公楽三関様	32,840円

花泉支部

花泉町花泉字上野沢	今野 壮助様	100,000円
花泉町永井字粒乱田	高橋タキ子様	100,000円
花泉町油島字南沢	佐藤佐津夫様	100,000円
花泉町金沢字内ノ目	稻辺 園子様	10,000円
花泉町老松字藤田	佐藤 宏昭様	30,000円
	匿 名	100,000円

大東支部

大東町猿沢字伊勢堂	佐竹 義保様	100,000円
大東町大原字中島	小島 晃司様	50,000円
大東町渋民字八幡前	芦 正太郎様	50,000円
大東町猿沢字長洞	金野 戰一様	50,000円
大東町猿沢字大町裏	小野寺清一様	50,000円
大東町猿沢字志田山	中津山 敏様	50,000円
大東町大原字台下	加藤 純様	200,000円
大東町大原字畠中	中沢 康悦様	100,000円
大東町大原字一六	中川 教子様	100,000円
大東町沖田字奈良崎	村上 栄紀様	100,000円
大東町大原字長泉寺先	小笠原賢吾様	30,000円
大東町大原字渋谷	小野寺 進様	100,000円
大東町猿沢字街道下	伊藤 哲夫様	100,000円
大東町鳥海字西館	小山 英樹様	100,000円
大東町渋民字関ノ上	永澤 恵子様	100,000円
大東町中川字疊石	伊東 孝様	50,000円
大東町大原字樽原	佐々木英一様	100,000円
大東町曾慶字暮坪	小山 東治様	50,000円
大東町曾慶字暮坪	小山 ケイ様	50,000円
大東町猿沢字金取東沢	小野寺和敏様	30,000円

大東町沖田字細葉

佐藤 武宏様 50,000円

大東町中川字篠ヶ崎

佐藤 勝男様 50,000円

大東町摺沢字街道下

小野寺徳夫様 50,000円

大東町大原字鶴ヶ前

菅原 一祐様 30,000円

大東町

室蓬会職員互助会様 150,000円

大東町摺沢字但馬崎

村上 純様 100,000円

大東町摺沢字間明田

小原 孟文様 100,000円

大東町 ハートキルトパッチワークの会

代表 鳥畑 ふく様 12,811円

大東町 平成22年度摺沢小学校ゆいっこ劇場

実行委員会 委員長 佐藤 至様 18,466円

大東町渋民字和田沢

小崎 盛人様 50,000円

大東町摺沢字摺沢駅

加藤 仁一様 50,000円

大東町鳥海字小谷

伊東秀三郎様 50,000円

匿 名 50,000円

匿 名 20,000円

千厩支部

千厩町清田字下大持

藤野 佑一様 100,000円

千厩町 小梨中学校昭和40年度卒業同級会様

10,000円

千厩町小梨字落合

千田 幹雄様 50,000円

東山支部

東山町長坂字東本町

鈴木 繁昌様 50,000円

東山町長坂字町

菅原 慶喜様 100,000円

東山町松川字三室平

千葉 丈夫様 100,000円

東山町

田河津婦人会様 45,000円

東山町長坂字西本町

鈴木 榮様 50,000円

匿 名 300,000円

室根支部

室根町折壁字愛宕下

藤代 武彦様 50,000円

室根町津谷川字竹野下

及川裕二朗様 30,000円

室根町折壁字田茂木

熊谷イソミ様 20,000円

室根町折壁字若菜沢

小山 正典様 50,000円

室根町矢越字朴

日下 時一様 30,000円

室根町矢越字矢越

小山 晃弘様 50,000円

室根町 一関市ゲートボール協会室根支部

支部長 千葉繁美様 9,350円

朝日新聞厚生文化事業団から「市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター緊急助成」を頂き、資材の整備、ボランティアの派遣等災害支援活動を行っておりますのでお知らせいたします。

お詫び
 「社協だより19号」において、5ページ「貸借対照表、純財産の部、国庫補助金等特別積立金」の増減の金額は、「△5,039,763」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail: info@ichinoseki-shakyo.com